

平成25年度 社会福祉法人阿久比町社会福祉協議会事業報告書

1、法人運営事業

1、理事会・評議員会・監査、月例会議の開催

平成25年度は理事会を4回、評議員会を4回開催しました。監査会は1回、理事の業務の執行状況・法人の財産状況について監事による監査を受けました。

月例会議は、毎月1回開催し正副会長と事務局職員で社協の運営について協議しました。

日程	場 所	会議名	出席	主 な 内 容
5/15	オアシスセンター	監査会	6人	●平成24年度に係る理事の業務執行状況及び法人の財産状況について監事による監査を実施
5/27	オアシスセンター	理事会	14人	●事務所移転に伴う関係規程の一部改正 ●平成24年度事業報告書認定 ●平成24年度一般会計決算書認定 ●評議員同意
5/29	オアシスセンター	評議員会	26人	●理事選任 ●平成24年度事業報告書承認 ●平成24年度一般会計決算書承認
10/15	オアシスセンター	理事会	13人	●町社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程及び町社会福祉協議会指定訪問介護事業所（居宅介護等）運営規程一部改正 ●平成25年度一般会計補正予算第1号
10/22	オアシスセンター	評議員会	25人	●平成25年度一般会計補正予算第1号
12/18	オアシスセンター	理事会	14人	●評議員同意
12/19	オアシスセンター	評議員会	27人	●理事選任
3/20	オアシスセンター	理事会	13人	●町社会福祉協議会介護休暇規程の制定 ●町社会福祉協議会育児介護休業等関係規程の一部改正 ●町社会福祉協議会経理規程の全部改正 ●平成25年度一般会計補正予算第2号 ●平成26年度事業計画書（案） ●平成26年度一般会計予算（案）
3/25	オアシスセンター	評議員会	25人	●平成25年度一般会計補正予算第2号 ●平成26年度事業計画書（案） ●平成26年度一般会計予算（案）

2、役員評議員等研修

役員評議員等の資質向上と地域福祉推進のため、視察及び研修を行いました。

日程	参加者・場所	事 業 名 ・ 主 な 内 容
7/12	21人 滋賀県 東近江市	先進地社協等視察研修 東近江市社協の地域福祉活動計画、生活困窮者支援の取組みについて、武豊町社協と合同で研修しました。
11/26 ～27	5人 長野県宮田村	知多郡民生関係団体優良社会福祉施設視察研修 社協、民協、共同募金会合同で、日本聴導犬協会訓練センターを視察、聴導犬の役割や訓練方法等について研修

12/14	5人 南知多町総合 体育館	平成25年度知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会一般研修 ○講演「よい聴き手になるために 傾聴技術の向上を目指して」 NPOホールファミリーケア協会 理事長 鈴木絹英
-------	---------------------	--

3、福祉サービス苦情解決制度

社会福祉協議会が行う福祉サービスへの苦情に適切に対応するため、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置、福祉サービスの質の向上を目的に研修会に参加しました。

日程	参加者・場所	事業名・主な内容
1/20	1人 県社協	社会福祉事業者による苦情解決制度推進研修会 ○講義 「福祉サービスの質の向上と苦情解決制度の役割」 ○講師 淑徳大学総合福祉学部 准教授 山下興一朗
2/12	1人 県社協	社会福祉事業者による苦情解決制度受付担当者研修会 ○講演 「福祉サービスに関する法的な問題～裁判例を通して～」 ○講師 弁護士 矢野和雄 ○講義・演習 「苦情をサービスの向上につなげるために」 ○講師 NTTドコモ東海支社お客様サービス部 室長 永田昌靖、主査 渡邊剛康

4、諸規程の整備

(1) 制定 介護休暇規程

(2) 改正 事務所移転関係規程、訪問介護事業所運営規程、育児介護休業等関係規程、社会福祉協議会表彰弔意内規、経理規程

2、企画広報事業 (<http://www.agui-shakyo.or.jp>)

年4回、町社会福祉協議会の広報「あぐいの福祉」を全世帯に配布。福祉意識の啓発や社会福祉協議会の活動等を紹介、ホームページによる福祉情報の提供を行いました。

号数	発行日	主な内容
101号	5/1	新会長あいさつ、事務所の移転、パート職員募集、会員募集、平成25年度事業計画・予算概要、善意をありがとう
102号	8/1	平成24年度決算概要、平成25年度会員加入報告、平成25年度知多郡内優良児童等顕彰式、社会福祉協議会活動状況、善意をありがとう
103号	10/1	共同募金、社会福祉協議会活動状況、サマーボランティア体験記、福祉のつどい、善意をありがとう
104号	1/15	会長年頭挨拶、表彰おめでとう、第15回阿久比町福祉のつどい、共同募金、福祉協議会の活動状況、善意をありがとう

3、地域福祉推進事業

1、社会福祉協議会会員加入状況

行政協力員会、民生委員児童委員協議会などの協力により会員募集を推進しました。

加入率：平成25年度 71.1%（前年度 74.1%）

	平成25年度実績		平成24年度実績		前年対比 (会費)
	金額	件数	金額	件数	
特別会員	485,000円	94件 (97口)	510,000円	99件 (102口)	-4.9%
賛助会員	986,000円	493件	982,000円	491件	+0.4%
一般会員	3,116,500円	6,233件	3,100,500円	6,201件	+0.5%
団体会員	213,000円	71件	222,000円	74件	-4.0%
施設会員	16,000円	8件	18,000円	9件	-11.1%
合計	4,816,500円	6,899件	4,832,500円	6,874件	-0.3%

2、地域福祉計画の策定（平成25年度・平成26年度）

阿久比町は、「地域福祉計画」を策定するため、役場住民福祉課と社会福祉協議会との合同事務局体制で計画策定に取り組みました。

（策定体制）

区分	役割
1 策定委員会	地域関係者、福祉関係者、福祉関係事業者、学識経験者などで構成する策定委員会を設置し、地域福祉計画の方向性や計画案の審議を行います。
2 作業部会	住民参画の一環として、地域関係者、民生委員、町内の福祉事業所、当事者団体、行政職員で構成する作業部会を設置し、具体的な事業・活動案を検討します。
3 住民福祉懇談会	住民参画の一環として、町内4小学校区ごとに4会場、各4回（のべ16回）の住民懇談会を開催し、町民の皆さんが日頃感じている地域での福祉課題や、解決のための手段や役割分担をワークショップなどの手法を用いながら意見交換を行います。
4 福祉団体等 ヒアリング調査	住民参画の一環として、各種福祉団体等の現状と課題を聞き取り調査します。
5 策定調整検討 会議	庁舎内の体制として、民生部各課の他、政策協働課、地域福祉に関係する各課長で構成する策定調整検討会議を設置し、各部署が管轄する総合計画、分野別計画との連携を図りながら、町役場内の関係部署間の調整や計画の内容を検討します。

（1）策定委員会の開催

日時	内容	場所	人数
平成25年 8月1日	第1回地域福祉計画策定委員会	中央公民館 301	10人
平成26年 2月19日	第2回地域福祉計画策定委員会	中央公民館 201	12人

（2）作業部会の開催

日時	内容	場所	人数
平成25年 8月26日	第1回作業部会 全体会 ・ワークショップ「まちづくりの4つの窓」	中央公民館 301	35人
12月10日	第2回作業部会 全体会 ・住民福祉懇談会、ヒアリング調査で集まった課題の整理について	中央公民館 301	32人
平成26年 1月31日	第3回作業部会全体会および第1回各テーマ別作業部会 ・地域福祉計画で取り組むべきテーマについて	エスペランス 丸山ホール	25人

2月18日	第2回テーマ別作業部会「孤立・孤独」部会 ・孤立・孤独部会の今後の検討内容について	中央公民館 304	11人
2月26日	第2回テーマ別作業部会「交流・活躍のできる場」部会 ・交流・活躍のできる場部会の今後の検討内容について	中央公民館 301	10人
2月27日	第2回テーマ別作業部会「参加」部会 ・参加部会の今後の検討内容について	中央公民館 304	10人

(3) 住民福祉懇談会の開催

第1回	テーマ 「自分たちの住む地域(まち)がどんなところなのかを把握し、良い所や困っている所について共有する」			
	学区	日時	会場	参加人数
	東部学区	平成25年10月17日(木)	宮津公民館	37人
	英比学区	10月21日(月)	中央公民館	20人
	草木学区	10月16日(水)	草木公民館	31人
	南部学区	10月23日(水)	エスペランス丸山	20人
第2回	テーマ 「具体的にどんな課題(困りごと)が地域(まち)にあるのかについて焦点をあて、課題の抽出と分類・整理を行い関連性を考える」			
	学区	日時	会場	参加人数
	東部学区	平成25年11月14日(木)	宮津公民館	28人
	英比学区	11月18日(月)	中央公民館	22人
	草木学区	11月13日(水)	草木公民館	17人
	南部学区	11月20日(水)	エスペランス丸山	26人
第3回	テーマ 「整理した課題について誰が主体となり課題を解決するのか、役割分担(住民・行政・社協等)を考える」			
	学区	日時	会場	参加人数
	東部学区	平成25年12月12日(木)	宮津公民館	25人
	英比学区	12月16日(月)	中央公民館	16人
	草木学区	12月11日(水)	草木公民館	18人
	南部学区	12月18日(水)	エスペランス丸山	19人
第4回	テーマ 「住民の皆さんに役割分担していただいた課題について、住民の皆さんで「解決できることは何か・必要なことは何か」を考え、計画に盛り込むべき内容を考える」			
	学区	日時	会場	参加人数
	東部学区	平成26年1月23日(木)	宮津公民館	20人
	英比学区	1月20日(月)	中央公民館	21人
	草木学区	1月15日(水)	草木公民館	16人
	南部学区	1月22日(水)	エスペランス丸山	15人

合計 のべ351人(第1回108人、第2回93人、第3回78人、第4回72人)

(4) 福祉団体等ヒアリング調査の状況

	調査団体名	実施日	人数
1	民生委員・児童委員協議会	平成25年12月20日	8人
2	いきいきクラブ連合会	11月6日	20人
3	子ども会連絡協議会	11月28日	30人
4	身体障害者福祉会	12月9日	6人
5	手をつなぐ育成会	11月13日	7人
6	精神障害者家族会	11月28日	10人
7	母子寡婦福祉会	11月30日	7人
8	子育て支援センター利用者	11月21日	14人
9	ボランティアグループ連絡会	11月30日	20人
10	地域包括支援センター(居宅介護支援事業者連絡会)	11月21日	10人
11	知多障害者相談支援センター (2市2町障がい者自立支援ネットワーク会議)	9月12日	15人
参 加 人 数 計			147人

(5) 策定調整検討会議の開催

日時	内容	場所	人数
平成25年 9月18日	第1回策定調整検討会議	中央公民館 201	6人

平成25年度は、計画作りに必要な意見を集めるため、住民福祉懇談会とヒアリングを行いました。住民福祉懇談会は、4小学校区で各4回開催し参加者は延べ351名でした。ヒアリングは、11の福祉団体等から147名の参加があり、作業部会の意見も合わせると約1000枚の意見が集まりました。これらの意見を450枚に整理、さらに18の課題に整理し、3つのテーマにしぼりました。

平成26年度は、計画の素案作りに向け、テーマごとに作業部会で話し合いを行っていきます。

3、地域福祉推進事業 () は前年度実績

各種事業を通じて地域福祉の推進を図り、福祉相談は関係機関等と連携して対応しました。

事業名・場所	日程	参加者	内 容										
知多郡内優良 児童等顕彰式	5/10	6人	○優良児童生徒 5人 ○優良子ども会 宮津山田子ども会										
第61回愛知県社 会福祉大会 (愛知県体育館)	10/24	42人 (43人)	●愛知県知事感謝状(民生委員児童委員) 戸田完、新海民正(20~25年) 永井清子(10~15年) ※中部盲導犬協会見学(午後)										
福祉相談	通年	52件 (75件)	住民福祉課、地域包括支援センター、県社協等と 連携し相談の対応に努めました。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>送 迎</th> <th>貸 付</th> <th>車いす</th> <th>介護保険</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>9 (14)</td> <td>15 (17)</td> <td>1 (5)</td> <td>7 (4)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	送 迎	貸 付	車いす	介護保険	件数	9 (14)	15 (17)	1 (5)	7 (4)
			区分	送 迎	貸 付	車いす	介護保険						
			件数	9 (14)	15 (17)	1 (5)	7 (4)						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ケアマネ</th> <th>ヘルパー</th> <th>日常生活</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>15 (19)</td> <td>0 (2)</td> <td>3 (0)</td> <td>2 (14)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	ケアマネ	ヘルパー	日常生活	その他	件数	15 (19)	0 (2)	3 (0)	2 (14)			
区分	ケアマネ	ヘルパー	日常生活	その他									
件数	15 (19)	0 (2)	3 (0)	2 (14)									
日常生活自立支援 事業	通年	5人 (1人)	高齢や障がい等で判断能力が不十分な方へ、基幹的社協(半田市社協)と連携し金銭管理等を行いました。										
車いす貸出し事業	通年	51件 (62件)	高齢、障がい、傷病等で歩行が困難な方に車いすを無料で貸出し日常生活を支援しました。										

4、小地域福祉活動モデル事業

行政区(小地域)を基礎として、住民同士の支え合い活動を推進するため、小地域福祉活動モデル事業を行いました。

(1) 民生委員児童委員協議会定例会への参加

民生委員児童委員協議会と社会福祉協議会との連携強化・小地域福祉活動の報告等を目的に社協職員が参加しました。

(2) モデル地区での定期的な訪問調査等

宮津団地・白沢台・大古根の3地区をモデル地区に指定、民生委員児童委員の協力のもと、月1回、定例会を行い、生活課題の把握・個別ケースの検討・一人暮らし老人等の家庭訪問・サロン活動を行い小地域福祉活動の推進を図りました。

①定例会(月1回)

宮津団地、白沢台、大古根地区で、打合せと見守り活動(家庭訪問)を実施

②支え合い活動(月1回)

宮津団地、白沢台地区で、65歳以上の独居世帯及びおおむね75歳以上の方を対象にした
 支え合い活動（サロン）を実施

【サロン参加者】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宮津団地	35	34	31	33	32	32	32	34	31	37	32	29
白沢台	12	18	19	18	17	16	18	21	19	18	19	20

【ふれあい訪問】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	交流会
大古根	—	25	26	26	26	25	25	24	25	23	22	22	11
宮津団地	—	—	—	—	—	—	14	14	14	14	14	13	—

【福祉なんでも相談】

白沢台地区 3件、宮津団地地区 2件

【その他の事業】

事業名	実施時期	摘要
先進地社協視察研修 豊田市社協藤岡支所	9月30日	藤岡支所で取り組んでいる「ご近所支え合い事業」と豊田市社協全域で取り組んでいる「地域ふれあいサロン」について小地域福祉活動モデル地区のボランティアの方と研修しました。 参加者 28名
消費者問題寸劇	9月20日 10月15日	宮津団地地区（9月）と白沢台地区（10月）で、「これが悪質商法！」をテーマに劇団笑劇派が寸劇を行い、参加者に笑いを織り交ぜながら注意を呼びかけました。
大古根ふれあい交流会 （災害時体験セミナー） 大古根公民館	3月13日	大古根地区のふれあい訪問利用者が集い、防災ボランティアあぐいの講話や非常食体験等で利用者同士交流を図りました。参加者 25名
サロン・宅老所交流会 中央公民館	3月19日	第1部 講演会「すぐに活かせる傾聴！」 講師 名古屋大学特任教授 坂野尚美 第2部 交流会 ①事例発表（南粕谷ハス） 南粕谷コミュニティ会長 石井久子 ②グループ交流（参加者） 参加者 104名

4、ボランティアセンター活動事業 () は前年度実績

1、ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティア情報（あぐいの福祉内に掲載）

年4回、全世帯に配布し、ボランティア活動の啓発と情報提供を行いました。

発行状況 No.66 (5/1)、No.67 (8/1)、No.68 (10/1)、No.69 (1/15)

(2) ボランティア相談

相談件数	相談内容の内訳		
	ボランティアをしたい	ボランティアを求める	相談・照会
20人 (22人)	5人 (6人)	8人 (6人)	7人 (10人)

(3) ボランティア登録状況

ボランティアセンター登録（平成26年3月）			ボランティア活動 保険加入状況	（※）活動費助成 ボランティア団体
団体	個人	計		
30団体 604人 (33団体 710人)	56人 (61人)	660人 (771人)	649人 (604人)	12団体 (12団体)

- (※) ①療育グループどんぐりの家、②E COMATE ホテル、③明るい社会づくり運動知多地区推進協議会阿久比地域、④なずなの会、⑤防災ボランティアあぐい、⑥託児ボランティア「ぼけっと」、⑦あぐいメンズクラブ、⑧フラワー、⑨矢勝川の環境を守る阿久比地区会、⑩あぐいふるさとガイド、⑪どじょっこの会、⑫さくら

2、ボランティア講座の開催

(1) 手話奉仕員養成講座基礎編

9/20 ～ 3/14	中央公民館 アシセター	手話奉仕員養成講座入門編修了者対象に、手話のレベルアップを図る目的で行いました (全23回) 参加者 22人 (21人) 修了者 22人 (14人)
-------------------	----------------	---

3、福祉教育の推進

(1) 福祉実践教室

町内の児童生徒が障がい者などと交流し、福祉への理解を図りました。(総参加者 596人)

6/27	アシセター	福祉実践教室打合せ会議 (日程調整、情報交換)
10/9	東部小学校	手話・車いす・点字・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験 参加者 4年生 71人 (4年生 55人)
10/10	南部小学校	手話・車いす・点字・高齢者疑似体験 参加者 4年生 56人 (4年生 83人)
10/18	草木小学校	手話・車いす・点字 参加者 4年生 33人 (32人)
11/27	英比小学校	車いす・手話・高齢者疑似体験・点字・ガイドヘルプ 参加者 4、5年生 166人 (4、5年生 159人)
1/16	阿久比中学校	車いす・手話・点字・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験・回想法 参加者 1年生 270人 (265人)

(2) サマーボランティアスクール

夏休み中学・高校生が施設でボランティアを体験し福祉への理解を図りました。

(参加者 36人)

7/25	もちの木園ふれあい体験	阿久比中学校演劇部・合唱部 参加者 16人 (6人)
7/29	阿久比一期一会荘ふれあい体験	阿久比高校生 参加者 3人 (4人)
7/31	パスピ・98ふれあい体験	阿久比高校生 参加者 3人 (3人)
8/2	東ヶ丘デイサービスふれあい体験	阿久比高校生 参加者 4人 (4人)
8/5	もちの木園ふれあい体験	阿久比高校生 参加者 3人 (9人)
8/6	福住苑ふれあい体験	阿久比高校生 参加者 4人 (3人)
8/7	ハーブゆいまあるふれあい体験	阿久比高校生 参加者 3人 (3人)

4、地域の多様な団体との交流

(1) ボランティアグループ連絡会

ボランティアグループ連絡会を開催、町内のボランティアグループと情報交換・連絡調整を図りました。(①6/9 22人16グループ、②9/14 26人15グループ、③11/29 19人10グループ)

(2) 第9回阿久比町ボランティア交流会

2/23	エス・ランス丸山	平成25年度は、常滑市ボランティア連絡協議会と阿久比町ボランティアグループとの交流会として開催し後継者問題とグループ運営(お金や組織)などについて意見交換を図りました。 ●参加者 47人 常滑市 9グループ 24人 阿久比町 12グループ 23人 (11グループ 51人)
------	----------	---

(3) 平成25年度知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会ボランティア研修

3/1	大府市役所 多目的ホール	参加者 6人(7人) ○講演 「気になる人を真ん中に～ここまでできるボランティア力～」 ○講師 すずの会 代表 鈴木恵子氏 主催 知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会(幹事:大府市)
-----	-----------------	--

5、災害救援・福祉救援ボランティア活動の推進

(1) 防災リーダー・災害ボランティアコーディネーター養成講座

防災リーダー・災害ボランティアコーディネーター養成講座を行い人材育成を図りました。

10/6 ～ 1/26	阿久比町 勤労福祉 センター	参加者 21人、災害ボランティアコーディネーター修了者18人 10/6 「災害にも強いまちをめざして」、「自主防災会の活性化演習」 11/24 「災害の基本論」、「災害図上訓練(DIG)」 12/15 「災害時の自助、耐震化と家具転倒防止」、「町の防災・応急手当」 1/26 「災害ボランティアセンターの意義と役割」 「災害救援ボランティアセンター実技訓練」 主催 阿久比町・阿久比町社会福祉協議会 東浦町・東浦町社会福祉協議会 協力 防災ボランティアあぐい・東浦防災ネット
-------------------	----------------------	---

6、声の広報の発行

「声の広報ボランティアあいうえお」が、社協広報、町広報をCDに音訳し、「声の広報」として、視覚障がいの方へ情報提供を行いました。利用者2人(2人) ボランティア10人(10人)

5、共同募金配分金事業

10～12月、行政協力員会等の協力で共同募金運動を実施し配分金で各種事業を行いました。

	平成25年度実績	平成24年度実績	前年対比
戸別募金	3,213,504円	3,305,365円	-2.8%
職域募金	104,110円	96,038円	8.4%
街頭募金	122,362円	110,640円	10.6%
学校募金	76,767円	77,823円	-1.4%
法人募金	697,000円	709,290円	-1.7%
預金利息等	197円	194円	
合計	4,213,940円	4,299,350円	-2.0%

○街頭募金は、10/5にアピタ阿久比店・ユーホーム阿久比店、ピアゴ阿久比北店で、11/16・17に産業まつり会場で行いました。

(1) 普及啓発事業

()内の参加人数、は前年度実績

介護者教室 講演会	7/28	中央公民館	講演 「認知症の最新知識と支援の方法」 講師 国立長寿医療研究センター 第二脳機能診療科医長 武田章敬 参加者 52人(52人)
	2/15	中央公民館	講演 「認知症の方の日常生活」 講師 生活介護研究所名古屋 松林誠志 参加者 23人(42人)

第15回阿久比町福祉のつどい	12/1	勤労福祉センター	<p>◎式典 〔社会福祉協議会功労者表彰〕 ○会長（4年以上） 故皆川徳成 ○役員・評議員（10年以上） 黒島彦、竹内祥樹、永井清子、花井繁通 〔福祉基金高額寄付感謝状〕 ○団体（20万円以上） 半田遊技業組合、エー株式会社アピ 阿久比店 ○個人（10万円以上） 藤田幸男、吉田憲子、折井義友</p> <p>◎トークショー「ツレ流うつとの付き合い方」 講師 細川貂々、望月昭 司会 武田文</p> <p>◎販売コーナー 母子寡婦福祉会、パズル98、ひらめき2%、もちの木園 参加者 288人</p>
NPO現場見学バスツアー in あぐい	2/15	<p>①半田市市民活動センター ②知多市市民活動センター</p>	<p>知多半島で様々な活動をしているNPO法人の現場を見学し、ボランティア・市民活動への興味関心を高め、新たな活動者の育成・啓発を図りました。</p> <p>①はんだまちづくりひろば⇒NPO法人半田市観光協会⇒NPO法人エンド・ゴール ②NPO法人地域福祉サポートちた⇒南粕谷ハウス 参加者 24人（12人）</p>

(2) 老人福祉活動

みんなの敬老会	9/8	勤労福祉センター	敬老会参加者に記念品を贈呈しました。 (町制60周年記念事業として町いきいきクラブ連合会の主催で行いました。)
いきいきクラブ社会奉仕活動	9月	町内	地区ごとにいきいきクラブが公園等で社会奉仕活動を行いました。(町いきいきクラブ連合会主催)
いきいきクラブ連合会支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 61クラブ 4,180人 (63クラブ 4,387人)

(3) 障がい児・者福祉活動

知多半島地域こころの健康フェスティバル	9/14	常滑市民文化会館	精神障害者への理解や啓発を目的に開催されたこころの健康フェスティバルの運営に協力しました。
第33回障がい者大運動会	10/20	スポーツ村	障がい者の社会参加を目的に町内の障がい者団体主催の運動会の運営に協力しましたが、雨天により中止しました。
身体障害者福祉会支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 192人 (214人)
手をつなぐ育成会支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 59人 (62人)

精神障害者家族 会支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 11人 (12人)
------------------	----	--	-------------------------------

(4) 児童・青少年福祉活動

ひとり親家庭 レクリエーション 大会	8/18	ラグーナ蒲郡	夏休み、町内のひとり親家庭が日帰りバス旅行で 楽しく交流しました。参加者 37人 (32人)			
福祉協力校活動 推進事業	通年		南部小学校、阿久比中学校、阿久比高校を福祉協 力校に指定、福祉教育の支援助成を行いました。			
要保護・準要保 護家庭児童生徒 支援事業	通年		学校主催の修学旅行・キャンプ等に参加した要保 護・準要保護家庭の児童生徒に助成しました。			
				修学旅行	キャンプ	集団生活訓練
			中学校	16人 (20人)	23人 (0人)	0人 (0人)
小学校	13人 (14人)	18人 (10人)				
子ども会連絡協 議会支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 24クラブ 1,387人 (24クラブ 1,352人)			
母子寡婦福祉会 支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 55人 (56人)			

(5) 地域福祉推進活動

送迎サービス	通年	移動するのに車いすが必要な方の通院等の支援を目的に、車いす ごと乗れる福祉車両の貸出しや、福祉車両を運転する送迎ボラン ティアのコーディネートを行いました。												
●平成25年度利用状況 月平均利用7.1回 (4.1回)														
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	回数	7	7	6	8	9	9	11	7	6	7	6	3	86
利用者登録 17人 (14人)、ボランティア登録 10人 (11人)														
遺族会支援事業	通年		活動支援と活動費を助成しました。 124人 (126人)											

(6) 地域歳末助け合い募金活動

歳末見舞金の 配分	12月	町内在住の生活保護世帯に、歳末見舞金を配分しました。 24世帯 (21世帯)
--------------	-----	---

6、資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得で生活困難な世帯への資金の貸付相談を関係機関と協力して行いました。

（1）相談状況

	平成24年度	平成25年度
相談件数	17件	15件
生活福祉資金	11件	8件
くらし資金	2件	0件
照会	4件	7件

（2）貸付状況

	平成24年度		平成25年度		未償還状況	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	未償還額
生活福祉資金	3件	737,000円	0件	0円	16件	5,598,790円
緊急小口資金	2件	200,000円	0件	0円	6件	463,670円
教育支援資金	1件	537,000円	0件	0円	4件	1,414,860円
総合支援資金	0件	0円	0件	0円	6件	3,720,260円
くらし資金	0件	0円	0件	0円	1件	15,000円

7、居宅介護等事業

1、訪問介護、介護予防訪問介護事業（介護保険事業）

高齢者が在宅で生活を続けられるよう、ホームヘルパーが訪問し、介護の必要な方には訪問介護サービスを、介護予防の必要な方には介護予防サービスを提供しました。

（1）訪問介護、介護予防訪問介護実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護時間	14.0	14.0	12.0	9.0	9.0	7.5	9.0	6.0	0.0	8.0	9.0	9.0	107
予防介護時間	58.0	62.0	48.0	61.0	64.0	59.0	66.0	63.0	52.0	41.0	53.0	58.0	685
合計時間	72.0	76.0	60.0	70.0	73.0	66.5	75.0	69.0	52.0	49.0	62.0	67.0	792
訪問介護利用者(人)	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	12
予防訪問介護利用者(人)	9	9	8	9	10	10	10	10	9	9	9	9	111
利用者計(人)	11	10	9	10	11	11	11	11	9	10	10	10	123

（2）要介護度別内訳（平成26年3月現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	5	1	0	0	0	0	10
割合(%)	40%	50%	10%	0%	0%	0%	0%	100%

(3) 訪問介護、介護予防訪問介護年度別実績（利用者数は3月分利用者）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
訪問介護時間	219	405	107
予防介護時間	827	740	685
合計時間	1046	1145	792
訪問介護利用者(人)	2	3	1
予防介護利用者(人)	8	9	9
利用者合計(人)	10	12	10

2、軽度生活援助事業（町受託事業）

介護保険で自立と判定された高齢者で日常生活に軽易な援助が必要な方に、ホームヘルパーが訪問し、在宅生活が継続できるよう家事援助等のサービスを提供しました。

(1) 軽度生活援助訪問実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問時間	64	52	45	54	52	47	53	48	45	42	36	39	577
利用者(人)	10	9	9	9	9	9	9	9	9	7	7	7	103

(2) 軽度生活援助年度別実績（利用者数は3月分利用者）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
訪問時間	1258	889	577
利用者(人)	13	11	7

3、居宅介護事業（障がい者福祉サービス事業）

障がい者が在宅生活を続けられるよう、ホームヘルパーが訪問し、居宅介護（身体介護・家事援助）サービスを提供しました。

(1) 居宅介護訪問実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護時間	19.5	19.5	18.0	16.5	16.5	18.0	21.0	15.0	16.5	16.5	15.0	16.5	208.5
利用者(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 障がい別内訳（平成26年3月現在）

身体	知的	障がい児
0人	1人	0人

(3) 居宅介護年度別実績（利用者数は3月分利用者）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
居宅介護時間	218.5	224.5	208.5
利用者(人)	1	1	1

8、居宅介護支援事業

介護保険で要介護と判定された方に、在宅生活が続けられるよう、本人や家族の意向にそってケアプランを作成し、介護サービスが適切に利用できるよう支援しました。また、地域包括支援センターの委託を受け、要支援の方へ介護予防プランを作成しました。

(1) ケアプラン、予防プラン作成業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン (件)	14	16	16	19	20	19	19	18	18	18	18	18	213
予防ケア プラン(件)	15	15	15	16	16	16	17	17	17	18	18	19	199
合計 (件)	29	31	31	35	36	35	36	35	35	36	36	37	412

(2) 要介護度別内訳 (平成26年3月現在)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	10	9	9	4	3	0	2	37
割合(%)	27%	24%	24%	11%	8%	0%	6%	100%

(3) ケアプラン、予防プラン作成業務年度別実績

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ケアプラン (件)	111	153	213
予防ケアプラン (件)	68	149	199

9、心配ごと相談事業

心配ごと相談所を開設し、日常生活上の困りごとに、民生委員児童委員・人権擁護委員・行政相談員が相談助言を行いました。(第1、3木曜日 午前9時30分～11時30分 中央公民館)

(1) 心配ごと相談所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	22
相談件数(件)	2	2	2	1	0	1	1	1	1	1	1	4	17
内 訳	生活・仕事 (件)												0
	家族・離婚 (件)						1	1				3	5
	人権・法律 (件)			1									1
	住宅・土地 (件)		1				1				1		3
	財産・相続 (件)	1										1	2
	苦情・その他 (件)	1	1	1	1					1	1		6

(2) 心配ごと相談事業年度別実績

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
相談者(人)	18	8	17

11、基金運営事業

平成25年度の福祉基金への寄付金は、35件、計1,447,632円でした。

(1) 福祉基金寄付状況 (昭和61年度設置)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
寄付件数(件)	0	3	3	2	1	2
寄付金額(円)	0	57,970	101,300	221,553	5,330	30,473

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
寄付件数(件)	1	6	9	0	2	6	35
寄付金額(円)	100,000	153,778	558,217	0	107,213	111,798	1,447,632

(2) 福祉基金累計積立額年度別実績 (3月末現在)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
基金積立累計額	104,285,692円	104,285,692円	106,248,000円